

## 草津白根山の火山活動解説資料（平成 22 年 4 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

振幅の小さな火山性地震の一時的な増加が繰り返し発生しました。地殻変動には特段の変化はみられませんでした。湯釜火口内の北壁などでは引き続き熱活動の高まりがみられています。

山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られます。周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留する事がありますので、注意が必要です。

平成21年4月10日に噴火予報を発表し、警戒事項を切り替えました（噴火警戒レベル1（平常）継続）。その後、予報警戒事項に変更はありません。

### 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

奥山田（湯釜の北約 1.5km）に設置してある遠望カメラでは、湯釜北側噴気地帯の数ヶ所の噴気孔からごく弱い噴気が時々観測されました。

湯釜火口内に設置してある東京工業大学のカメラでは、火口内に噴気は観測されませんでした。

#### ・火口及び山体内の熱の状況（図3）

13日に東京工業大学、東京大学地震研究所と共同で実施した上空からの観測（群馬県の協力による）では、湯釜火口内北壁や北側噴気地帯の熱活動の高まりが継続していました。

#### ・地震や微動の発生状況（図4、図5）

4月3日～5日、24日～25日及び5月2日～4日、6日～7日（期間外）にかけて、湯釜火口周辺を震源とするとみられる振幅の小さな火山性地震の一時的な増加が繰り返し発生しました。火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図5）

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図1 草津白根山 湯釜付近の状況（4月25日）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成22年5月分）は平成22年6月8日に発表する予定です。

この記号の資料は気象庁のほか、東京工業大学のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(地図画像)』を使用しています（承認番号：平20業使、第385号）。



：図 1（右図）の  
東京工業大学の  
火口カメラの位置


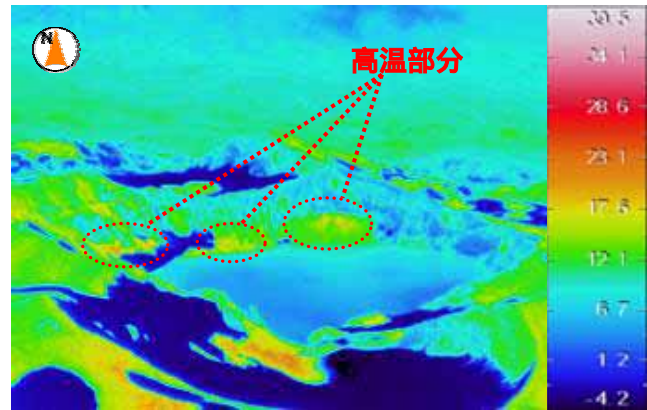
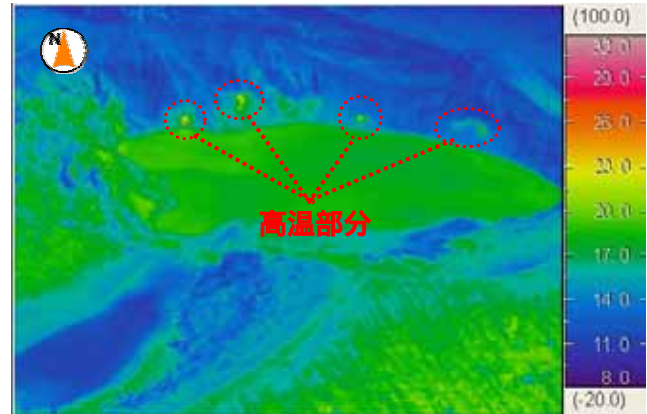
：図 3 の撮影場所  
と撮影方向

図 2 草津白根山 湯釜周辺図



2010 年 4 月 13 日 11 時 07 分



2009 年 9 月 14 日 11 時 19 分

図 3 草津白根山 上空から撮影した湯釜火口内北壁の状況と地表面温度分布<sup>1)</sup>  
（南西方向より撮影、群馬県の協力による）

今回（2010 年 4 月 13 日）の観測では日射の影響もみられます

1) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

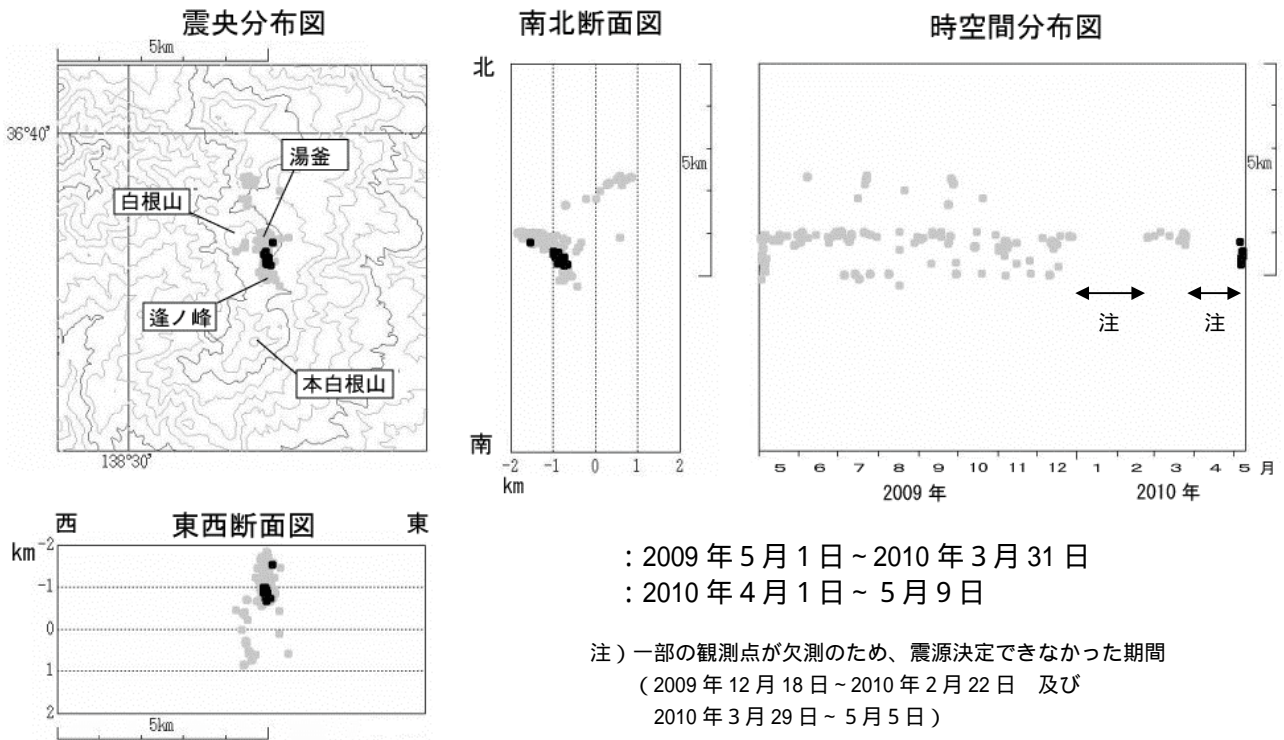


図4 草津白根山 震源分布図(2009年5月1日~2010年5月9日)

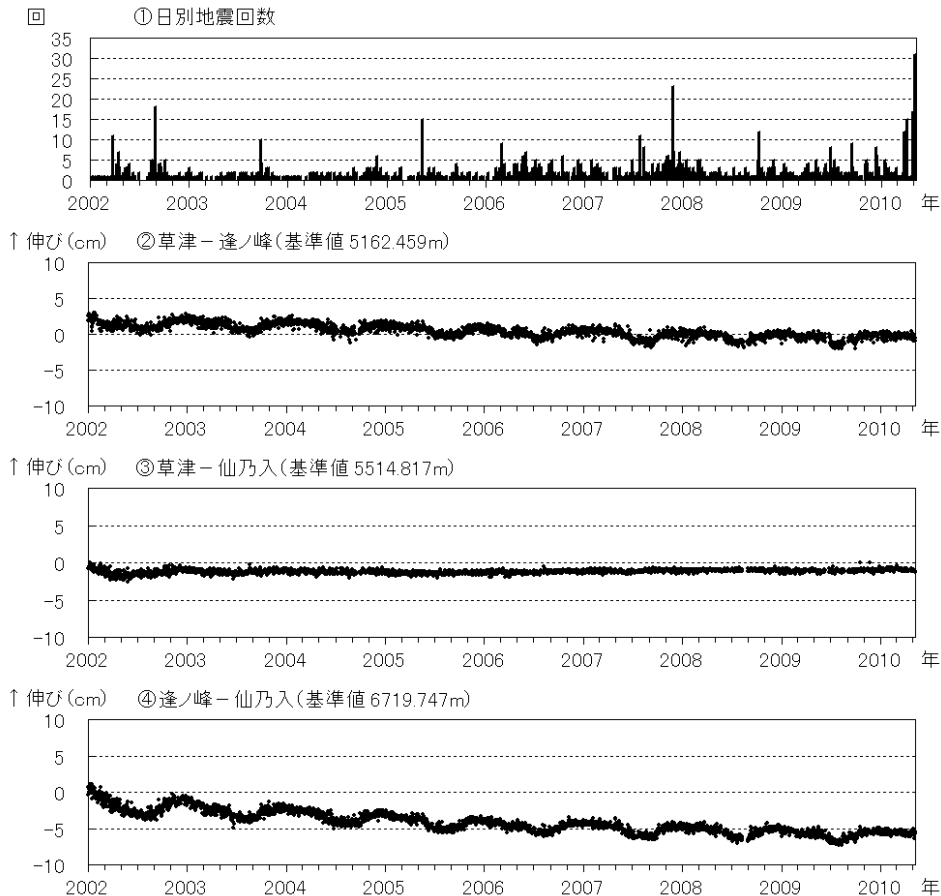


図5 草津白根山 最近の火山活動の推移(2002年1月~2010年5月9日)

山体付近に発生した地震の日別回数  
 ~ GPS連続観測による基線長変化  
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。  
 ~ は図6の ~ に対応しています。

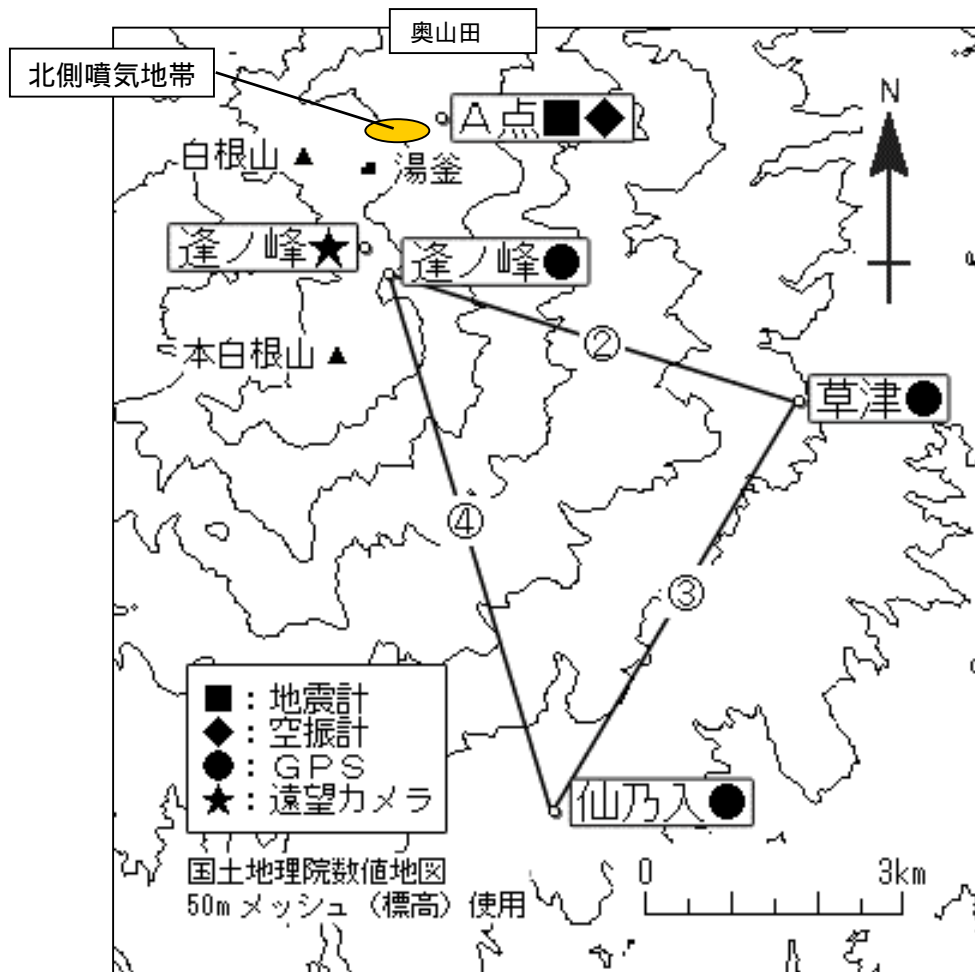


図6 草津白根山 気象庁の観測点配置図  
 (小さな白丸は観測点位置を示しています)  
 GPS基線 ~ は図5の ~ に対応しています。